

令和8年度 第3回 日の出中学校 学校地域連携運営協議会の概要

日 時 令和8年9月3日(木) 15:00~16:00

参加者 6名 副会長(元PTA会長)、学校支援コーディネーター、
日の出中学校区青少年健全育成連絡会元会長、
日の出ふれあい農園代表、
校長、教頭

傍聴者 なし

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

今年度の夏は、地震や豪雨などの自然災害による影響で大変な思いをして過ごされた方が多かったのではないかと思います。生徒たちは部活動や学習会、職員は研修会などに励む夏休みであった。また、生徒たちは大きな事故やトラブルはなく、2学期から元気に登校し、活気のある学校が戻ってきた。9月から働クエストなどの学校行事が予定されており、準備を進めている。始業式においては、学校生活を充実させるために「返事とあいさつ」「学習に集中」「周りの人への思いやり」について頑張ってもらいたいことを伝えた。3年生から2年生へ世代交代しながら、生徒中心の主体的な活動を支えていきたいと思う。

3 協議

(1) 第1回学校評価アンケート結果について

結果は全体的に高く、生徒・保護者については昨年度より大幅に低下している内容はなかった。職員の低下している質問内容は、もっとできるであろうと感じている大きな期待値の表れである。

1つ目の課題である「身の回りの整理整頓」については、家庭においても収納スペースの工夫や保護者と一緒に片付けることなど、効果的な実践について考えていただく旨を学校だより特別号で伝えた。学校でも委員会活動などにおいて、整理整頓ができる環境を整えていきたいと考えている。

2つ目の課題である清掃活動について、きれいなトイレと感じる基準は、人によって気になる度合いが異なるため、生徒たちがトイレ清掃を行う際、共通の基準(どこまできれいにするか)を設けたほうがよい。また、清掃業者とともに行う「トイレ清掃キャンペーン」などを実施することも一つの手段であると思う。

SNSやAIの利用状況、ゲームや動画の視聴など、学校評価アンケート以外で聞き取り、スマホやタブレットの利用状況を把握してもよいと思う。中学生になると学習内容をAIに読み取らせ、自分で考えることなく答えを導き出すことができるようになる。自身が導き出した答えを確認するなどの利用は有効的であるが、答えを知らずにAIに頼るような利用は避けるなど、適切な活用についてどのように指導していくのか検討する必要があると考える。

(2) 学校・家庭・地域のよりよい関わり方について

学校・家庭・地域が協力しながら、子どもたちにとって最良の環境をつくることについて、学校地域連携運営協議会において協議し、3月末には家庭や地域の方への協力内容について報告できることを目指す。他生徒と向き合う時間の確保や職員の職務遂行時間の確保を考え、長時間にわたる面談や電話連絡など、解消しなければならないと感じる。

4 生徒会本部役員との協議

(1) 全校縦割り道徳について

○生徒

今年度も1～3学年の生徒が混在した小集団を作り、1クラスに6つの小集団が集まったクラスで授業を展開する。授業のねらいは、「主として自分自身に関すること（節度・節制）」とし、授業展開内容を生徒会本部役員が作成し、当日の司会進行は学年生活委員が行うこととする。異年齢による小集団活動・協議を行うため、授業のはじめに自己紹介・アイスブレイクを実施する。昨年度に行ったアイスブレイクはジェスチャーゲームであったため、表現できる生徒とできない生徒に分かれてしまった。そのため、小集団討議において、消極的な雰囲気になってしまった集団があったことが課題であった。今年度のアイスブレイクは、以心伝心ゲームとし、みんなが発言しやすく、打ち解けやすい状況になると予想している。本題については、学校生活で起こりうる行動・場面など、電子黒板を使用して例を提示し、一人一人が考え、小集団による協議・まとめ・情報共有を行う流れとする。

○委員

司会進行を行う学年生活委員と生徒会本部役員は綿密な事前打合せを行っておく必要がある。アイスブレイクでは、部活動などにおいてつながりのある関係性であればよいが、1年生から3年生に会話することはとても難しいことを念頭に置いて実施すること。授業展開において時配が設定されているが、アイスブレイクなど早く終わった場合は次の導入に進めるなど、スムーズに授業を流し、いろんな意見を引き出せるようにしておくこと。

(2) 日の出中フェスティバルについて

○生徒

学校地域連携運営協議会委員の皆さんから、地域の各種団体へ日の出中フェスティバルでの発表、出店、展示など、積極的に参加してほしい旨を伝達していただきたい。昨年度は、生徒会本部役員も小学校に赴き、実施内容の紹介のみのポスターではあったが、掲示・配布依頼を行った。今年度は、公民館などにもポスター掲示し、幅広く紹介したいと考えている。今後、当日の発表の流れや出店・展示場所について検討する予定である。当日、キッチンカーを6台配置したいので、早めに依頼の協力をお願いしたい。

○委員

日の出中フェスティバルの参加団体については、発表の募集人数の制限や展示・体験場所の確保など、詳細を9月末までに決めてほしい。10月上旬の健全育成連絡会において、簡易的な案内を出せることが望ましい。また、次回11月19日(木)の第4回学校地域連携運営協議会に、参加募集ポスターが完成していれば、地域に配布することは可能である。昨年度、日の出中フェスティバル実行委員が誰なのかが分からなかったという課題を解消するために、浦安市地域振興課にあるはっぴを借りてもよいのではないか。制服の上から身に着けるものであれば、ビブスは着づらく、腕章はわかりづらいため、目立ち分かりやすいはっぴの着用を前向きに検討してほしい。昨年度の「ひのっちゅカフェ」は、茶菓子が足りなくなったので、昨年度以上の量を準備するために、学校支援コーディネーターとPTAで相談を進めていきたい。出店団体のことを考え、晴天時・雨天時の活動場所と内容についても検討する必要がある。

5 各委員より

- ・ 8月21日に講師として職員研修会に参加した。学校・家庭・地域のよりよい関わり方について、マナーに関する内容などの研修を実施した。職員の皆さんから、学ぶことが多く、充実した時間を過ごせたという感想をいただき、とても嬉しく思う。また、9月9日には3学年生徒対象にマナー講座の講師を行う予定である。
- ・ 未来塾の講師として、日の出・明海中学区の生徒と関わっている。毎年1年生の参加者は多いが、2年生になると少なくなる。今年は、参加している講師が多く、充実しているため、もっと生徒たちに参加してほしい気持ちである。
- ・ 今年度の働ククエストは9月26日に実施予定である。打合せを重ね、ある程度のめどは立っている。当日、電子黒板を使用する講師の方はいるが、一般社会において電子黒板よりプロジェクターの利用頻度のほうがはるかに多い。可能であれば、電子黒板設置教室にも予備としてプロジェクターを準備しておいてほしい。
- ・ 健全育成では、各学校において標語コンクールを実施してもらっている。今後の各校でのとりまとめ、健全育成全体会での投票の集計など、協力していただきたい。
- ・ ふれあい農園では、11月頃にサツマイモの収穫祭を予定している。畑の周辺にハクビシンが目撃されたため、学校と協力し、罠を設置する予定。

6 配付資料

- ・ 第1回学校評価アンケート結果
- ・ 令和8年度学校だより
- ・ 令和8年度各学年だより
- ・ 学校地域連携運営協議会委員に係る確認書